

新潟大学 遺伝子倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	大規模コホートによる認知症の環境リスク要因および遺伝要因との相互作用の解明
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
<p>対象者及び対象期間：2011年～2013年に「生活習慣に関する健康調査票」に回答し、村上コホート研究に参加同意した方</p> <p>過去の研究課題：①加齢性疾患・生活習慣病の多目的分子疫学コホート研究（血液検体の収集・保管）（村上研究）、②「加齢性疾患・生活習慣病の多目的分子疫学コホート研究（血液検体の保管）」（責任者：中村和利）</p>	
③オプトアウトの概要	
<p>高齢社会における、認知症患者数の増大は著しく、公衆衛生上の大きな課題となっています。そのため、認知症の発症を抑制する予防対策が重要です。本研究では、診療情報調査による認知症を把握し、詳細な環境・生活習慣情報を用いた認知症の環境リスク要因を特定します。さらに保存血液検体を利用して、感受性遺伝子であるアポリポタンパクE（ApoE）遺伝子多型を解析することにより体質を考慮した認知症の予防方法を明らかにします。</p>	
④申請番号	G2022-0006、G2022-0007
⑤研究の目的・意義	本研究は、認知症の環境要因と遺伝要因との相互作用を解明し、認知症（特にアルツハイマー病）の効果的な予防法の確立を目指しています。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から2027年3月31日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	凍結保存してある血液を利用して、遺伝子解析を行います。使用するデータは個人が特定されないように取り扱います。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	2011～2013年に行った、村上コホート研究における「生活習慣に関する健康調査票」の情報及び、凍結保存してある血液を利用します。
⑨利用する者の範囲	新潟大学医学部環境予防医学分野 中村和利、北村香織
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学医学部環境予防医学分野 中村和利
⑪お問い合わせ先	<p>本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。</p> <p>所属：新潟大学医学部環境予防医学分野</p> <p>氏名：中村和利</p> <p>Tel：025-227-2124</p> <p>E-mail：kazun@med.niigatau.ac.jp</p>